

(第五百三十二條) 明治八年第六十七號四月三十日指令小

田縣伺

罰則違犯處斷ノ者貧窶ニテ五日内ニ罰金完納能ハサル
キハ直チニ資力限り追徴可然哉

指令

罰則違犯ノ者貧窶ニシテ罰金完納能ハサルキハ身代
限り取上クヘシ但シ罰金ニ限り爾後其者身代持直シ
候トモ再度取立ルニ及ハサル事

(第五百三十三條) 明治八年第八十二號十月八日指令茨城

裁判所伺

斷罪無正條新條例情法ヲ酌量シテ五等マテ輕減スルコ
トヲ聽サ、ルニ付テハ諸罰則違犯ノ者モ又其情狀ニ依リ
相當ノ見込ヲ以テ輕減シ可然哉將々罰則等ハ特別ノ規

定ナレハ自首スル者ノ外ハ律例ニ比準スルヲ得サル哉

指令

不得止ノ情實アル者ハ輕減シテ其旨詳細ニ記載スヘ
シ

○科料罰金上納式

(第五百三十四條) 明治五年壬申三月七日第七十三號御達

府縣ニ於テ及處斷候贖金ハ毎年正月七月兩度ニ司法
省ニ可相納尤収税法又ハ商賣職業ニ關スル諸科料ハ是
迄ノ通大藏省ニ可相納事第五百三十
六條參看

但司法省ニ相納候分納方等ノ儀ハ同省ニ可伺出事

(第五百三十五條) 明治五年壬申四月十三日大藏省第五十

五號達

贓贖金納方ノ儀ニ付當二月中御布告ノ趣有之候就テハ
納方引分期限ノ儀昨未十二月中迄ニ收入ノ分ハ當省へ
相納當申正月以來ノ分ハ司法省へ相納候儀ト可相心得
事

但収税法又ハ商賣職業ニ關スル諸過料等ハ贓贖金ト
區別有之事ニ付右等ノ類ハ兼テ御布告ノ通渾テ當省
へ可相納事

(第五百三十六條)

明治六年一月十八日第十九號御達

府 縣

府縣ニ於テ及處斷候贓贖金ハ司法省へ相納メ収税法又
ハ商賣職業上ニ關スル諸科料ハ大藏省へ可相納旨壬申
第七十三號布告ニ及置候處以來贓贖金ハ勿論稅則又ハ
職業ニ關シ罰金科料ノ名目ヲ以テ取立候分共總テ司法

省へ可相納事

但納方ノ儀ハ同省へ可承合事

(第五百三十七條)

明治六年一月十九日御達

司 法 省

諸省使府縣ニ於テ取立候罰金諸科料ノ類自今一切其省
へ爲相納候ニ付別紙之ノ通夫々御達相成候條其旨相心
得毎年十一月中取束大藏省へ納付可致事
但稅則上ヨリ出ル諸科料取立方等ノ儀ハ大藏省へ打
合取調可致事

(第五百三十八條)

明治六年一月十九日御達

諸 省

諸省ニ於テ罰金科料等取扱ノ事務有之向ハ右取立金以
來總テ司法省へ納付可致事

但委細ノ儀ハ同省へ可打合事

(第五百三十九條) 明治六年二月十八日大藏省第十七號達

府 縣

第十九號ヲ以御布告相成候云々ノ内稅則又ハ職業ニ關シ候罰金科料ノ名目ヲ以取置候分共總テ司法省へ可相納ト有之候ハ明治六年一月ヨリ取立候分ニテ昨壬申十一月中迄ニ府縣廳へ取立候分ハ同年御勘定仕上ケ可組込品ニ付租稅寮へ上納可致儀ト可相心得候此段相達候事

(第五百四十條) 明治六年三月三日本省第二十五號達

自今取立候諸科料ノ類別紙書式ノ通取調毎年兼テ御布告相成候贖金上納ノ期月ニ當廳へ可相納此段相達候事但贖金ト不混淆樣區別ヲ立可差出事

別紙書式

諸科料罰金上納ノ記

合金何圓

內譯 金何圓 蠶種密賣

金何圓 買過料金賣

金何圓 絞油破禁札

金何圓 入過料無鑑札

諸科料ノ罰金數種不混樣一廉限

右當明治何年四月月ニ倣ヒ書立シ諸科料罰金總計本文員數

通別紙明細書相添差出候也改正達第五百

明治年月日 司法卿宛

蠶種密賣買過料金內譯帳

何府縣知事令署名押印

一金何圓何國何郡何村
 一金何圓右同斷
 一金何圓右同斷
 合金何圓何錢

絞油破禁過料金內譯帳
 一金何圓誰過料何郡何村何
 一金何圓右同斷
 一金何圓右同斷
 合金何圓何錢

入港無鑑札船罰金內譯帳
 一金何圓何國何郡何
 村何誰罰金何
 合金何圓何錢
 諸科罰金數種不混樣一廉
 限リ書載スル皆之ニ倣フ
 (第五百四十一條) 明治六年三月五日御達

司 法 省

諸省使府縣取立候罰金諸科料一切其省へ爲相納候段去
 一月相達候處開拓使ニ限リ其官員贖金類ヲ除クノ外所
 管部民ノ贖金料料等ハ其省へ不相納同使ニ於テ處分
 候條此旨更ニ相達候事

(第五百四十二條) 明治六年六月九日本省第九十號達
 當省第二十五號ヲ以テ及布達候諸科料罰金上納式ノ内
 四月ヨリ九月ト有之ハ全 一月ヨリ三月
 四月ヨリ六月 迄ノ書損ニ候條此
 十月ヨリ十二月

段更ニ相達候也

(第五百四十三條) 明治六年六月十三日第二百八號御達
 本年第十九號布告罰金科料等ノ儀裁判所被置候府縣ハ
 其應ニテ右犯罪者發覺スルニ於テハ之ヲ其裁判所ニ送

致シ裁判所ニ於テ處斷シ直ニ罰金追徴可致候事
但府縣廳限リ取設候規則タリトモ罰金科料ニ類シ候
者及裁判上ニ關係シタル者ハ總テ其裁判所ニ照知可
致事

(第五百四十四條) 明治六年六月十八日御達

司法省

共省並各裁判所及ヒ諸省府縣ニ於テ取立候罰金科料ノ
類毎年一月相達候處自今其省ニテ取立ノ分或ハ他向ヨ
リ相納候分共有合候金高本月ヨリ月々大藏省ニ納付可
致此旨更ニ相達候事

但去ル己巳ノ年ヨリ本年迄取立候諸贖金ハ早々大
藏省ニ納付可致尤右ノ内流用致シ置候分ハ決算ノ上
納拂ヒ可取計事

(第五百四十五條) 明治七年四月十七日第四十九號御達

院 省 使

諸上納金及返納金等收入致シ候節自今別紙品目ニ照準
上納證本行金員内譯ニ貨幣各種ノ名稱ヲ一種類毎ニ詳
細記載可致此旨相達候事

貨幣品目

一金貨

一銀貨

一新銅貨

一舊銅貨

但舊天保錢文久錢青錢十文錢等ノ類

一二分金

但小形ノ分ナリ大形安政二分判ト稱スルハ古金ノ

類中ニ入ルヘキ事トス

一 貳朱金

一 壹分銀

一 壹朱銀

一 金札

但太政官民部省ノ金札ヲ云

一 新紙幣

一 證券

但三ツ井組證券開拓使證券ヲ區分スヘシ

一 銀行札

但國立銀行發行ノモノニテ則横長繪入ノ札ヲ云フ

一 會社券

但東西京横濱大坂爲換會社ノ札ヲ云

一 藩札

但各種入交リタルモノハ内譯ニ其種類ヲ區分スヘシ

一 洋金

但國名及種類ヲ區分スヘシ

一 洋銀

一 壹圓銀

但外國輸出入物品稅等ノ内壹圓銀ニテ端數アルノ類ハ壹圓銀ハ圓ニ止メ端數ハ別行ニ記載傍ニ通貨

ヲ附スヘシ

一 古金銀

但古金銀ノ類ハ通貨ヲ元ニ立内譯ニ種類ヲ區分シ

一 種類毎ニ通貨ヲ附スヘシ

一 贖金銀
一 贖楮幣

但贖金銀楮幣共各種ノ枚數箇數ヲ記載シ通貨ヲ附
スルニ及ハスト雖モ地租ヲ始諸稅納等ノ内事故ア
リテ納附スヘキ節ハ元價ノ數ヲ一打ニ書記シ内譯
ニ各種ヲ部分スベシ

一 燒流折金銀等

但燒流金銀等ハ箇數ト量目等ヲ記載スヘシ此他種
類ノ異ナルモノアラハ詳細類別スヘシ

一 右ニ掲ル種類ノ内新舊銅貨ハ其品ノミヲ以テ納附ス
ル時ノ例ニシテ假令ハ金貨銀貨等ヲ納附スル時端數
ニ新舊銀貨等籠リタルモノハ類別ニ及ハス
一 證書ヲ以テ一旦地租等ノ内へ收入シ直ニ諸費用ノ内

ニ請入ルモノト雖モ右ニ掲ル品目ニ倣ヒ種類區分記
載スヘシ

一 前條上納金ノ儀東京橫濱大坂共國立銀行預リ手形ヲ
以テ上納可致ニ付其現品預ケ場所ヲモ區別記載致ス
ヘシ

(第五百四十六條) 明治七年四月十七日第五十號御達

府 縣

諸上納金各種分類ノ儀辛未十二月中大藏省達書ノ旨モ
有之候處自今別紙品目ニ照準地租其他一切ノ上納金及
返納金等上納証書本行金員内譯へ貨幣各種ノ名稱ヲ一
種類毎ニ詳細記載可致此旨更ニ相達候事十五條參看

(第五百四十七條) 明治七年六月十二日 本省第十二號達

各裁判所

各府縣

諸上納金等收入ノ儀ニ付テハ本年第四十九號御達ノ趣

モ有之候ニ付自今當省へ相納候賍贖金等ノ儀モ右ニ準

シ左ノ雛形ノ通納金内譯へ貨幣各種ノ名稱ヲ一種類毎

ニ詳細記載可致此旨相達候事

賍贖金上納記

何處預リ証券

一金何程

金何程

新紙幣又

内 金何程

ハ官省金札或

金何程

ハ新何處証券

内譯

金何程

贖罪収贖金

金何程

賍金

金何程

賍物賣拂代金

過料罰金上納記モ本

右者明治何年何月ヨリ何月迄何々金總計本文員數ノ通

別紙明細書添相納候也

年號月日

府長官姓名印

司法卿宛

(第五百四十八條) 明治七年十一月十日第四百四十八號御達

使府縣

今般第百二十三號ノ通リ回漕規則布告第十五條參看候ニ付右

ニ照準可取計但税金手數料ハ上計帳へ組込大藏省へ諸

科料ハ司法省へ納附可致此旨相達候事

(第五百四十九條) 明治八年二月九日本省第三號達

各裁判所

裁判所無之

諸

縣

贖罪収贖金賍物賣拂金賍金科料罰金等上納記内譯帳製
 調方釐位以下四捨五入ノ法ヲ用ヒ或ハ毛絲以下迄モ組
 込候向有之一定不致ニ付計算上差支ノ廉不勘候條右ハ
 壬申第三百六十三號公布計算出納規則ニ據リ一廉限リ
 釐以下四捨五入ヲ以帳簿ヲ製シ毛以下ノ出目錢ハ不足
 ナ生スル節仕埋メ可致候事

但上納記内譯帳ハ今後正副指出スニ不及正帳一本可
 差出候此段相達候事

(第五百五十條) 明治八年三月二十二日 本省第五號達

各裁判所

裁判所無之

諸

縣

本年一月以後各廳於テ徵収ノ賍贖罰金ノ類別紙離形ノ

諸贖賍

明治	年	月	分	何	府	縣							
罰俸	人員	贖罪	人員	収贖	人員	賍金	人員	賍物賣拂	人員	甲	罰金	人員	
金員	人員	金員	人員	金員	人員	金員	人員	金員	人員	金員	人員	人員	

通月表ヲ製シ一枚宛至急本省へ可差出候但以往本月分
 ハ翌月十五日ヲ限リ右製表同斷可差出尤金額納付方ノ
 儀ハ従前ノ通可相心得候事

凡ソ一切ノ罰金ハ乙部ノ種類ヲ槩計シテ記載
 スルモノナレハ都テ此部ニ遺漏セサルヘシ

罰金月表

計人員	金員	乙		印紙 犯人	札 同	鑑 同	銃 同	砲 同	馬 同	釀 同	造 同	蠶 同	種 同	郵便 同	絞 同	油 同	船 同	舟 同	參 同	不 同	期 同	延 同	遲 同	長 官	印 官	印		
		金員	人員																									

此部ハ甲部ノ種類ヲ細別シテ照目スルヲ要ス因テ
其金員人員ノ計數ハ甲部ノ合計高ト同計タルヘシ

（第五百五十一條）明治八年十一月七日本省第四十號達

裁判所ヲ置サル
諸縣

贖罪収贖金贓物賣拂金贓金科料罰金等は迄三ヶ月分取
纏上納致來候處計算上都合モ有之候間來明治九年一月
分ヨリ其翌月十五日限リ上納記及内譯帳月表相添月々
納附可致此旨相達候事

科料罰金上納式附錄

（第五百五十二條）明治六年一月三十一日御指令本省伺

別紙之 大藏省ヨリ伺出候牛馬賣買免許稅規則ノ儀於當
省モ異存無之候然ルニ從前罰金或科料ト稱スルハ即律
上贖金ノ類ニ有之凡ソ法ヲ犯ス者ハ司法ニ於テ處斷可
致儀ニ候ヘハ右牛馬賣買云々ノ如キモ於地方各裁判所
有之向ハ不及申無之向ハ其地方官ニ於テ處斷ノ上科料
ハ一切當省ニ爲相納候方當然ト被存候仍テハ文部省出
板規則工部省鉄道規則及東京人力車規則ノ類一般同斷

ニ處置致度候ニ付御決議ノ上ハ夫々御達有之度此段相
伺候也

指令

伺ノ趣別紙ノ通及布告候事別紙第五百三十四條參看

但各省其外ハ先般相達候通ニ候事

(第五百五十三條) 明治六年六月二十三日御指令本省伺

六年第十九號御布告ヲ以テ贖金ハ勿論稅則又ハ職業
ニ關シ罰金科料ノ名目ヲ以テ取立候分共總テ當省ニ可
相納旨御達相成候上ハ裁判所被置候府縣ニ於テハ罰金
科料等ハ一切各人民ヨリ直ニ裁判所ニ相納裁判所ヨリ
當省ニ可相納等ノ處地方ニヨリ管轄限私ニ規則ヲ設
ケ右規則ニ違フ者ヨリ罰金ヲ科シ過怠ノ謝金ナト名目
ヲ付ケ其應限リ支消候向モ有之右差違候節ハ裁判所ニ

差出處分セシムル等ノ儀有之候處元來諸官省ノ條例荷
モ裁判上ニ關涉スル者ハ必ラス當省ノ照知ヲ經ヘキ筈
ニ有之然ルニ右等ニ於テ地方官限リ處分致候テハ各民
ノ方向ヲ失ヒ疑惑ヲ生シ不都合ニ有之候間自今右等地
方管轄限リノ規則ニ於テ裁判所有之地方ハ總テ裁判所
ノ照知ヲ經而シテ後施行シ且罰金ニ準スルモノハ總テ
裁判所ニ各人民ヨリ直ニ可相納旨各地方ニ御布告相成
度依テ別紙之爲御見合相添此段相伺候也

御指令

伺ノ趣第二百八號布告相成候事

(第五百五十四條) 明治六年後第二十六號八月八日指令入

間裁判所伺

先般熊谷縣ニテ適宜取扱候藝妓酌婦其他右ニ類シ候渡

世ノモノ其規則ヲ犯シ候節謝罪法ノ儀ニ付云々再應問
合有之右ハ地方適宜取設候規則ト雖モ罰金科料等ニ類
候分ハ當裁判所ニ於テ處斷致シ右取立候謝罪金ハ都テ
本省へ遞送可致儀ト相心得居候處右處斷濟取立候謝罪
金等ハ地方官へ受取申度旨同縣ヨリ尙掛合有之一定ノ
御規則ニ悖リ不都合ニ付其邊即答ニ及兼候事情モ有之
且ハ右規則ヲ犯シ候者罰金ノ儀計算候處重キハ金十八
圓以上ニ相成新律へ比較候へハ餘リ苛酷ニ過キ可申法
則ニ關係致ス儀故聊掛念有之候ニ付別紙掛合往復其他
ノ書類寫共之畧悉皆相添此段奉伺候

指令

罰金科料等處分ノ儀ハ總テ本文ノ通り裁判所ニテ處
斷シ本省へ遞送スへシ雜稅ト罰金トハ判然區別有之

罰金ヲ地方官ニ請取候筋決シテ無之事

罰金ノ儀ハ一時取締ノタメ取設ケ候モノ故新律ノ權
衡ニ比較シ難シ且定稅ノ三倍ヨリ不多一倍ヨリ不少
ト有之候間右範圍中ニテ適宜ニ處分スへキ事

○外國人犯則

(第五百五十五條) 明治四年辛未七月三日大貌列國代理公

使エフオアタムスヨリ外務卿へ文通

以手紙致啓上候然ハ去ル二月二日附ノ書翰ヲ以テ貴國
在留我英國人民發砲無作法ヲ豫防致シ候權各所領事共
へ相與へ候規則二ヶ條ノ案文我皇帝陛下へ伺ヒ可申趣
サアハルリパーシスヨリ申入置候處此度許容相成候
ニ付右規則我英國人民へ致布告候間爲御心得別紙寫シ

差進申候右ノ趣可得御意如此御座候以上

紙別布告

寺院及ヒ民家ノ近傍又ハ屏牆アル區内ニ於テ外國人ノ發砲遊獵ヲ禁止スヘキ規則ヲ決定セシメ日本政府ヨリ英國公使并其他締約各國ノ目代迄申出ラレタリ故ニ拙者千八百六十五年第三月九日我内閣ノ會議ニ於テ議定セシ我政府ノ規則第八十五條第八十二條及ヒ第九十條ノ趣意ニ從ヒ我職務ノ權ヲ以テ下條ニアクル二則ヲ撰定セリ右ハ我皇帝陛下ノ許可スル所ニシテ本國外務宰相イールグランビールヨリ拙者へ達シ來レル者ナリ依テ今此規則ヲ我國臣民へ布告ス領事出張ノ場所ニ於テハ此布告ノ日附ヨリ一ヶ月後右規則ヲ施行致シ前條内閣ノ會議ニ於テ決定ノ者同様可相心得者也

第一則

何人ニテモ謂レナク都府市街村落ノ限界中ニ於テ猥リニ銃砲類ヲ發スレハ犯法ノ罪ニ處シ可申其罰法ハ英國領事若クハ他ノ裁判局ニ於テ定メ一ヶ月ヲ踰へサル禁獄ニ處シ苦役ヲ命スルカ或ハ命セサルヘシ其上一百元ニ過サル過料ヲ出サシムルカ或ハ出サシメサルヘシ又禁獄セス一百元ニ過サル科料ヲ出サシムル事モアルヘシ

第二則

日本政府又ハ其官員又ハ借人其他獵業ノ免許ヲ受ケタル者ニ屬セシ屏牆アル地面中或ハ神社佛閣墳墓ノ地へ鳥獸遊獵ノヲメ立入候者ハ何人ヲ論セズ犯法ノ罪ニ處シ可申其罰法ハ英國領事又ハ他ノ裁判局ニ於テ一ヶ月ヲ踰へサル禁獄ニ處シ苦役ヲ命スルカ或ハ命セサルヘシ

シ其上一百元ニ過サル過料ヲ出サシムルカ或ハ出サシム
メス又ハ禁獄セスシテ一百元ニ過サル過料ヲ出サシム
ヘキ也

(第五百五十六條)

亞墨利加交易規則第一則ノ内

此報書中ニ間違アルヲ見出シ二十四時日ヲ除ク中ニ改
ムレハ料料ヲ償フニ及ハス然レモ此期限後ニ報書ヲ改
メ或ハ報書ヘ追加スル時ハ十五「ドル」ノ料料ヲ償フ
ヘシ報書中ニ載セサル諸品ヲ陸揚セシキハ二重ノ運上
ヲ拂フヘシ 各國交易規則同シ但シ
甲比丹或ハ頭人此規則書ニ記シタル時限中ニ日本ノ運
上所ニ其船ノ入港ノ式ヲ怠ルキハ其怠リタル日數一日
コトニ六十「ドル」ノ料料ヲ拂フヘシ 各國交易規則同
ナリ 金量異

第二則ノ内

日本政府ハ其港内ノ各船除ク軍艦中ニ運上役人ヲ置クコ
ト當然タルヘシ總シテ諸運上役人ヲハ丁寧ニ取扱ヒ其
船中ニテ成丈ケ相當ノ用便ヲ爲スヘシ日没ヨリ日出迄
ノ間ハ運上所ノ上官ヨリ別段ノ免許アル外ハ決シテ船
ヨリ荷物ヲ卸サ、ルヘシ艙口其他船中ノ荷物ヲ藏セル
場ヘ通スル諸所ハ日没ヨリ日出迄ノ間ハ日本役人之ヲ
封印鎖鑰及ヒ他ノ方ニテ封鎖スヘシ若シ相當ノ免許ナ
クシテ此ノ如ク封鎖シタル通行口ヲ開キ或ハ日本運上
役人ノ施シタル封印鎖鑰及ヒ他ノ封鎖ノ品ヲ破リ或ハ
取除ク人アラハ其犯セル毎ニ六十「ドル」ノ料料ヲ拂
フヘシ
日本運上所ヘ此ニ定メタル通りニ正當ノ届ヲ爲サスシ

テ船ヨリ卸シ或ハ卸ント謀リシ品物ハ取押ヘテ取上ク
 日本ノ収納ヲ害セント謀リテ價アル品物ヲ直段書ニ載
 セス包品ノ内ニ隠シ置ク事アラハ其包品ヲ取上クヘシ
 各國交易規則同シ但シ
 蘭魯佛ハ金量異ナリ
 亞墨利加船日本ノ開カサル港ニ於テ品物ヲ密賣シ或ハ
 密賣セント謀リシキハ其品ヲ日本政府ニ取上クヘシ且
 其船ヨリ犯セル毎ニ一千「ドル」ノ科料ヲ拂フヘシ
 交易規則同シ但シ蘭
 魯佛ハ金量異ナリ
 第三則ノ内
 運上所ヘ届ケサル前ニ輸出セントシ船ニ積込タル品物
 並ニ禁止ノ品物ヲ匿セル諸包ハ日本政府ヘ取上クヘシ
 各國交易
 規則同シ

第五則ノ内

日本ノ収納ヲ害セントスル意ヲ以テ偽ノ告知或ハ偽ノ
 証書ニ其名ヲ記セル者ハ其犯セルコトニ百二十五「ドル」
 ノ科料ヲ拂フヘシ

(第五百五十七條) 合衆國條約第六條ノ内

總テ此條約並ニ之ニ附属セル交易規則ノ箇條ヲ犯スニ
 由テ過料或ハ品物取上ケノ催促ハ役筋ノ吟味ヲ爲スタ
 メ之ヲコンシユル裁判所ヘ持出シ其取上ケタル諸物ハ
 日本上官ニ渡スヘシ
 獨逸國交易定則第二則ノ内

(第五百五十八條) 獨逸國交易定則第二則ノ内
 積荷ヲ同港内ノ他船ヘ移スニハ別ニ運上ヲ拂フニ及ハ
 ストイヘトモ日本役人見分シテ事實無相違ヲ知リ然ル
 後船移ノタメ右日本役人ヨリ渡ス免狀ヲ受スシテ船移

セシモノハ其犯セル毎ニ墨斯歌銀六十枚ノ罰金ヲ日本
政府ニ納ムヘシ 澳地利交易
定則同シ

(第五百五十九條)

獨逸國條約第三條ノ内

若シ獨逸國々ノ人民前條ノ則チ犯シ境界ニ出ル事アラ
ハ墨是哥銀百枚ヲ拂フヘク若シ再ヒ犯ス時ハ二百五十
枚ノ罰金ヲ拂フヘシ 澳地利條約第三
條ノ内同シ

第七條ノ内

此條約或ハ之ニ附属スル貿易ノ規律ヲ犯セルニ付取立
ヘキ罰金或ハ其物ヲ取揚ル事ハ獨逸國コンシユル吏人
ノ裁斷ニ因ルヘシ其取立タル罰金或ハ取揚品ハ都テ日
本政府ニ属スヘシ
取押ヘタル荷物ハ日本長官並ニ獨逸コンシユライル官
長ニテ其荷物ニ封印ヲナシ獨逸コンシユルニテ裁斷ス

ル迄ハ運上所ノ倉庫ニ取押ヘ置ヘシ
若シ獨逸コンシユル其荷主又ハ引請人正理ナリト裁斷
スルキハ其品物ヲ速ニコンシユルヘ引渡スヘシ然リト
雖モ日本長官若右コンシユルノ裁斷ニ同意セス尙高官
ノ裁判ニヨランコトヲ欲セハ右荷主又ハ引請人其品物ノ
直價ヲ其裁判濟迄獨逸コンシユルヘ預クヘシ
取押ヘラレタル荷物容易ニ腐敗スヘキ質ノ物ナレハ其
代價ヲ獨逸コンシユル所ニ預リ荷物ハ荷主或ハ其引請
人ニ渡ス何シ 澳地利條
約同シ

(第五百六十條)

瑞西條約第十條ノ内

瑞西合衆國ハ海國ニアラサルヲ以テ海上ノ規律ニ拘ハ
ル事ナシ故ニ日本ノ港ニ出入スル船々ノ規則ハ此條約
中ニ載セス然レトモ法ヲ犯シ其規則ヲ破ル瑞西人アラ

ハ他ノ國人ノ爲ニ設ケシ規則ニ隨ヒ裁斷スヘシ
(第五百六十一條) 瑞典那耳回條約第三條ノ内

瑞典那耳回人ノ内右界外ニ赴クモノハ日本政府ニテ取
押領事官ニ引渡スヘシ領事官ハ右犯法ノ者ヲ相當ニ罰
スヘシ 俄佛獨西ノ外此

(第五百六十二條) 西班牙條約第三條ノ内

若シ西班牙人別段ノ免許ナク右規程外ニ出ル事アラハ
日本役人右規程内ニ歸ルヘキヲ諭スヘシ若聞入レサル
キハ日本役人最寄ノ西班牙コンシユル館ヘ連來リ其時
ニ當リ定ムル規則ニ從ヒ罰スヘシ

(第五百六十三條) 俄羅斯交易規則第一則ノ内

俄羅斯コンシユルノ居ラサル港ニ於テ上ニ舉ケタルコ
ンシユル役前ノ諸取計ハ俄羅斯國ト懇親ナル外國ノコ

ンシユル或ハ日本運上所ニテ處置スヘシ

(第五百六十四條) 明治七年四月十日御達

司 法 省

御國在留清國人民籍牌規則別紙ノ通相定候條此旨可相
心得事

但裁判所ヘハ其省ヨリ可相達事

在留清國人民籍牌規則

清國政府ヨリ我各開港場ニ領事ヲ差置ク迄ハ各港在留
ノ清國人民ハ男女ヲ問ハス其管轄廳ヨリ相當ノ保護ヲ
加ヘ遵守セシムヘキ諸規則等ヲ布達スヘク就テハ其戶
數人員ヲ詳カニスルヲ緊要ナレハ管轄廳ニ於テ籍牌ヲ
與ヘ以テ其編籍ヲ分明ニスヘシ因テ規則ヲ定ムル左ノ
如シ

第一條 清國人民我國ニ在留セントスル者ハ着港ノ日ヨリ三日内ニ届出三十日内ニ籍牌ヲ受クヘシ若シ此日限ニ籍牌ヲ受ケサル者ハ直ニ籍牌ヲ受ケシメ手数料ノ外ニ罰金トシテ其定額ノ全數ヲ出サシムヘシ但右籍牌ハ年々之ヲ改換スヘシ

第二條 籍牌ヲ受クルニハ願書ヲ差出シ其分限ニ應シ手数料トシテ上等ハ金二圓下等ハ金五十錢ヲ納メ七月ヨリ十二月迄ニ受ル者ハ其半高ヲ納ムヘシ但十六歲未滿ノ男及ヒ婦女ハ其等額ノ半ヲ納ムヘシ

第三條 滯留三十日ヲ越ヘサル者ハ籍牌ヲ受クルニ及ハス尤モ着港ノ日ヨリ三日内ニ届書二通ヲ認メ管轄廳ヘ届ケ出一通ハ其廳ヘ納メ一通ハ檢印ヲ受ケ滯在ノ證トシテ所持スヘシ若シ此日限ニ届證ヲ所持セサ

ル者ハ直ニ届證ヲ受ケシメ罰金トシテ下等籍牌手数料ノ全數ヲ出サシムヘシ但シ疾病並ニ已ヲ得サルノ事故アルトキハ其旨願出猶豫ヲ受ルヲ得ヘシ其猶豫ノ期限ハ二十日ヲ過クヘカラス

第四條 籍牌ヲ受ケ甲港ニ在留スル者若シ乙港ニ移住セント欲スルトキハ其旨ヲ届ケ移住ノ上ハ手数料ニ及ハス甲管廳籍牌ヲ以テ乙管廳牌ト交換スヘシ

第五條 本國ニ歸リ或ハ他國ニ行ク者ハ其旨届出籍牌ヲ返納シテ其收票ヲ受クヘシ

若シ又其年内何レノ港ニ限ラス再ヒ來リテ在留セント欲スルトキハ手数料ニ及ハス收票ヲ其管轄廳ニ納メテ籍牌ヲ受クヘシ

第六條 籍牌ヲ紛失セシ者ハ直ニ届出更ニ定額手数料

ヲ納メテ之ヲ受クヘシ其水火盜難等ニ係ル者ハ半數
ヲ納メシムヘシ

但届証ヲ紛失セシ者ハ直ニ届出手數料ニ及ハス更
ニ受ルコトヲ得ヘシ

第七條 婚姻出產死去ノ節ハ當人又ハ其親故或ハ隨從
ノ者ニテ届書ヲ認メ當人ノ籍牌ヲ受ケ或ハ返納スヘ
シ

第八條 毎年一月四日ヨリ日數二十日ノ間ニ其管轄廳
ニ到リ籍牌ヲ改換シ定額ノ手數料ヲ納ムヘシ若シ此
日限ニ改換ヲナサ、ル者ハ手數料ノ外ニ罰金トシテ
其半額ヲ出サシムヘシ

第九條 籍牌檢査ノ爲メ其筋ノ役員ハ時々清國人ノ宿
所ヲ巡廻シ人毎ニ檢問スルコトアルヘシ若シ日限ヲ越

ヘ籍牌ヲ所持セス或ハ改換ヲナサ、ル者アルキハ直
ニ籍牌ヲ受ケシメ或ハ改換ヲナサシメ其手數料ノ外
ニ第一條第八條ノ罰金ヲ出サシムヘシ若シ籍牌ヲ受
ルヲ肯ンセス或ハ無力ニシテ受ル能ハサル者ハ我國
無籍人同様ノ處分ヲナスヘシ

但届証ヲ所持セサル者モ亦同シ其罰金ハ第三條ノ
如クナルヘシ

第十條 籍牌ヲ所持セス在留スル者出訴スルキハ先ツ
其籍牌ヲ持セサルノ罪ヲ糾シテ第一條ノ罰金ヲ出サ
シメ然ル後裁判スヘシ

第十一條 凡ソ訴狀願書届書等管轄廳ニ差出スベキ書
類ハ必ズ總代人ノ證印アルベシ地所ヲ借り受ケ及ヒ

家屋ヲ借貸賣買スルトキハ必ス約定書ヲ以テ管轄廳
へ届ケ出其書ニ檢印ヲ受クベシ但シ右檢印手数料ト
シテ双方ヨリ金一圓宛ヲ納ムベシ
程村紙四ツ切

○
○
府 准給清國人民上等籍牌
縣

姓名 王芳軒
年 齡 四十八歲
本 貫 浙江有寧波府鄞縣
生 業 上等開何々號洋貨行傭工
到 港 明治六年三月十二日
住 址 橫濱百四十九番

明治七年月

日給

程村八ツ切

○
○
府 准給清民家眷牌
縣

姓名 橫濱百四十九番何々號王芳軒
子姪 妻 女 孫

年 齡
住 址

明治七年月

日給

届書式

檢印

姓名	年 齡	本 貫	生 業	寄 留 地	妻	子	奴	婢
姓名	姓名	姓名	姓名	姓名	姓名	姓名	姓名	姓名

右年號何年何月何日何國何港ヲ發シ年號何年何月何日日本國何港へ着

年 月 日

總代人 姓名印
姓名印

外國人犯則附錄

(第五百六十五條) 明治六年二月十二日史官回答本省問合
問之書
答

鳥獸獵免許取締規則外國人トテモ一般遵守之御規則ニ候哉左候へハ各國公使へモ懸合濟之上ニ有之哉云々御問合之趣致承知候則外務省打合候處別紙寫之通回答候條爲御心得御廻シ申入候也

追テ各國ヨリ返答有之次第跡ヨリ速ニ御廻可申入候此段申添候也

別外務省回答書 同年一月三十一日

今般御頒布相成候鳥獸獵免許取締規則之儀ハ各國公使へ引合濟ニ候哉御問合之趣致承知候右引合候儀ハ

無之候得共從是爲心得各國公使へ布達可致手順ニ有之候尤答書差越候ハ、寫可差進候仍而御廻シ相成候司法省書面返戻此段及御回酬候也
追テ各國ヨリ返書不差越間ハ外國人之遊獵ハ今暫ク成規ヲ以難論候間其段司法省へ爲心得御達有之度候也

WH6
SH95A
77(2)

正誤

- 五丁十行 (待令)ハ(待令)ノ誤
- 三十五丁十二行 (郵便局)ノ下(書)ハ衍字
- 五十九丁四行 (等留)ハ(書留)ノ誤
- 二百四丁十一行 (自主)ハ(自首)ノ誤
- 二百五丁一行 (有何)ハ(何有)ノ誤
- 二百八丁十二行 (間合)ハ(問合)ノ誤
- 二百十六丁一行 (條例)ハ(條約)ノ誤
- 二百三十五丁三行 (二百九十二號)ハ(二百九十二條)ノ誤
- 二百五十一丁十行 (措令)ハ(指令)ノ誤
- 二百六十七丁三行 (二十號)ハ(二十七號)ノ誤
- 二百九十丁三行 (失々)ハ(夫々)ノ誤
- 三百三十六丁四行 (雖)ハ(難)ノ誤

三百六十丁八行

(官錄)ハ(官祿)ノ誤

四百一丁八行

(爲)ノ下(へ)ヲ脱ス

四百四十三丁一行

(島根)ハ(鳥取)ノ誤

同丁四行

(定)タルノ下(ニ)ヲ脱ス

四百五十五丁十行

(交陟)ハ(交際)ノ誤

四百八十二丁九行

(領布)ハ(頒布)ノ誤

五百十丁一行

(罰名)ハ(罪名)ノ誤

五百廿四丁十一行

(即)ハ(則)ノ誤

五百六十六丁十三行

(未滿)ハ(未滿)ノ誤

五百九十三丁九行

(又)ハ(又)ノ誤

六百二丁四行

(勿論)ハ(勿論)ノ誤

六百廿六丁三行

(混合)ハ(混合)ノ誤

六百三十二丁十行

(願)ハ(願)ノ誤

六百四十四丁十行

(地引)ノ下(繪)ヲ脱ス

六百九十二丁三行

(頻繫)ハ(頻繫)ノ誤

六百九十七丁四行

(改正)ハ(改正)ノ誤

七百六丁一行

(治第)ハ(次第)ノ誤

七百十九丁一行

(罪則)ハ(罰則)ノ誤

七百二十九丁八行

(新領律)ハ(新頒律)ノ誤

68
11
7

定價 壹圓六角六錢

最高裁判所図書館



000127380



